

平成25年3月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 平成25年3月8日午前10時

場 所 高浜市議事堂

議事日程

- 日程第1 議案第15号 平成24年度高浜市一般会計補正予算（第5回）
議案第16号 平成24年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）
議案第17号 平成24年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第2回）
議案第18号 平成24年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）
議案第19号 平成24年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）
議案第20号 平成24年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第3回）
議案第21号 平成24年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）
- 日程第2 議案第1号 指定金融機関の指定について
議案第2号 高浜市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第3号 高浜市道路の構造に関する技術的基準を定める条例の制定について
議案第4号 高浜市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の制定について
議案第5号 高浜市準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準を定める
条例の制定について
議案第6号 高浜市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造
に関する基準を定める条例の制定について
議案第7号 高浜市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施
設の設置に関する基準を定める条例の制定について
議案第8号 高浜市都市公園条例の一部改正について
議案第9号 高浜市道路占用料条例の一部改正について
議案第10号 高浜市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
議案第11号 高浜市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について
議案第12号 高浜市特別職の職員で常勤のものの給料の月額の特例に関する条例及
び高浜市教育長の給料の月額の特例に関する条例の一部改正について
議案第13号 高浜市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議案第14号 高浜市使用料及び手数料条例等の一部改正について
- 日程第3 議案第22号 平成25年度高浜市一般会計予算
- 日程第4 議案第23号 平成25年度高浜市国民健康保険事業特別会計予算

議案第24号 平成25年度高浜市土地取得費特別会計予算

議案第25号 平成25年度高浜市公共下水道事業特別会計予算

議案第26号 平成25年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算

議案第27号 平成25年度高浜市介護保険特別会計予算

議案第28号 平成25年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

日程第5 議案第29号 平成25年度高浜市水道事業会計予算

日程第6 予算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

2番	黒川美克	3番	柳沢英希
4番	浅岡保夫	5番	柴田耕一
6番	幸前信雄	7番	杉浦辰夫
8番	杉浦敏和	9番	北川広人
10番	鈴木勝彦	11番	鷲見宗重
12番	内藤とし子	13番	磯貝正隆
14番	内藤皓嗣	15番	小嶋克文
16番	小野田由紀子		

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市	長	吉岡初浩										
副	市	長	杉浦幸七									
教	育	長	岸上善徳									
企	画	部	長	加藤元久								
人	事	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	野口恒夫		
地	域	政	策	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	岡島正明
経	営	戦	略	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	山本時雄
総	務	部	部	長	大竹利彰							
行	政	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	内田徹		
財	務	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	竹内正夫		
情	報	グ	ル	ー	プ	リ	ー	ダ	ー	時津祐介		
市	民	総	合	窓	口	セ	ン	タ	ー	長	新美龍二	

市民窓口グループリーダー	木村 忠好
市民生活グループリーダー	山下 浩二
税務グループリーダー	森野 隆
福祉部長	神谷 美百合
福祉企画グループリーダー	磯村 和志
地域福祉グループリーダー	杉浦 崇臣
介護保険グループリーダー	篠田 彰
保健福祉グループリーダー	加藤 一志
こども未来部長	神谷 坂敏
こども育成グループリーダー	大岡 英城
文化スポーツグループリーダー	内藤 克己
都市政策部長	深谷 直弘
都市整備グループリーダー	平山 昌秋
都市防災グループリーダー	芝田 啓二
上下水道グループリーダー	竹内 定
地域産業グループリーダー	神谷 晴之
会計管理者	橋本 貞二
学校経営グループリーダー	中村 孝徳
学校経営グループ主幹	梅田 稔
監査委員事務局長	鵜殿 巖

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	松井 敏行
主査	杉浦 俊彦

議事の経過

○議長（北川広人） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の運営に御協力賜りますようよろしくお願いをいたします。

午前10時00分開議

○議長（北川広人） ただいまの出席議員は全員であります。

よって、これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。
これより本日の日程に入ります。

○議長（北川広人） 日程第1 議案第15号から議案第21号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示し
いただくようお願いいたします。

3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） 済みません。一般会計補正予算の説明書のまず61ページ、歳入の12款1項
5目の土木使用料のその後の住宅使用料ですか、市営住宅使用料現年度分と借上住宅使用料現年
度分のこの減額の理由と、あと71ページ、歳出の総務費2款1項18目の防災対策費の中の防災活
動事業の木造住宅耐震改修費補助金と木造住宅耐震改修補強計画費補助金、この減額の理由、こ
ちらのほう、木造住宅のほうなんですけれども、利用者の減とは聞いているんですけれども、当
局のほうとして高浜市内の木造住宅の非耐震の家屋がどのくらいあるのかというのを把握してみ
えるのか、そこら辺も含めてお願いします。

○議長（北川広人） 市民生活グループ。

○市民生活G（山下浩二） それではまず、12款1項5目3節の住宅使用料についてお答えさせ
ていただきます。

市営住宅使用料につきましては、入居者の所得に応じまして毎年度4月に家賃のほうを改定し
てございます。市営住宅の使用料の現年度分では、当初予算で前年度とほぼ同額の3,596万5,000
円、一入居世帯当たりの平均家賃を約2万670円ほど見込んでございましたが、入居者の収入申
告に基づきまして家賃の計算をしましたところ、平成24年4月からの平均家賃が1万8,098円、
約2,572円の減額となったものでございまして、以上の内容から今回447万5,000円の減額補正を
お願いするものでございます。

続きまして、借上公共賃貸住宅の使用料の減額理由でございしますが、これは平成24年度の退去
者9件によるものでございます。ちなみに、退去理由の内訳は、他の民間賃貸住宅に引っ越しを
された方が5件、ペットを飼育していたため自主退去された方が3件、滞納のほうが高額になり
まして、納付相談の結果自主退去された方が1件となっております、以上の理由から今回462
万円の減額補正をお願いするものでございます。

以上でございます。

○議長（北川広人） 都市防災グループ。

○都市防災G（芝田啓二） 御質問の木造住宅耐震改修費補助金と木造住宅耐震改修補強計画費補助金というのは、これ連動しております、当初では15件の予定をしておりましたが、現実に今4件ということで、その差額であります1,105万円を減額させていただくというものでございます。そして、市内の耐震改修工事の実績というところでございますが、この制度、平成15年から実施をしております。本年度の4件を足しまして累計が78件、耐震改修で補助をさせていただいておるという状況でございます。平成15年の昭和56年以前の旧耐震の建物が2,910戸ということでございますので、今回の78戸ということで、実施率といたしましては2.68%という状況になります。

以上でございます。

○議長（北川広人） 3番、柳沢英希議員。

○3番（柳沢英希） 済みません。参考にあと教えてほしいのは、市営住宅と借上住宅なんですけれども、空き軒数というのが市内どのぐらいあるのかと。先ほどの木造住宅のほうでも、今後市として啓発の手段、平成15年から始められてみえるというお話でしたけれども、まだこの2.68%と低いと思うんですけれども、今後どのような手段を、今までどおりなのか、また違う方法をとっていかれるのか、教えていただけたらと思います。

○議長（北川広人） 市民生活グループ。

○市民生活G（山下浩二） 市営住宅の今空き室の状況でございますが、25年の2月末現在で6軒となっております。

○議長（北川広人） 都市防災グループ。

○都市防災G（芝田啓二） 耐震改修のPRということだと思いますが、これまでも広報ですとかダイレクトメール等で、その実施について御案内をさせていただいておりますので、引き続きこういった形でPRをしていきたいなと思っております。

○議長（北川広人） ほかに。

15番、小嶋克文議員。

○15番（小嶋克文） 議案第15号の予算書の79ページですけれども、新規事業の2ページにありますけれども、今回の道路ストック総点検委託ということで、まず当然市においてもふだんからこういう道路の点検はされていると思います。今回、どのようなこれ点検が委託されて、どのような点検が行われるのかが1点と、それから市内全域ですけれども、対象がと思うんですけれども、これ全部だとかかなり広いと思いますので、ある程度絞って優先的な道路があるのかどうか、それからこれ市道だけに限るのか、ちょっとそこら辺お願いいたします。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） それでは、78ページの道路ストックの総点検委託の関係なんですけど、まず1,230万円のこの根拠なんですけど、平成25年1月11日に閣議決定されまして、日本経済再生

に向けた緊急経済対策の一環で、道路ストックの老朽化対策ということで行っております。高浜市について、高浜市全域ということなんです、要は高浜市内の道路認定されている部分の一級、二級の道路自体が31kmあります。その31kmに対して、道路の舗装に対する路面状況調査と道路照明灯と大型の標識の老朽化状況を実施するものでございますが、内容的なものにつきましては、車にレーザーとテレビカメラを設置して、車道を31km部分を走って、その部分の凹凸、段差がついてないかとか、それとあとひび割れがしてないかとか、そういった状況を把握する事業でございます。それにつきましては、一応今回高浜市全域でやるとしております。それからあと、部分的にやったほうがいいんじゃないかというんじゃなくて、これ自体も工期的にもそんなに時間がかかるわけでもないものですから、調査的には全体的に把握したほうがいいかと思っております。

それとあと、高浜市においても舗装を修繕的なことはやっておるんですが、幹線道路であることにつきまして、交通量が多くて、わだちのひび割れだとかそういうところを直すことが早急にできないという状況でありまして、この今の調査を行うことによって今回のひび割れ状況というのがかなりわかってくると思いますので、その対応をさせていただき補助でございます。この補助につきましても、国の補助が91%あります。その部分を調査の対象とさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（北川広人） 15番、小嶋克文議員。

○15番（小嶋克文） ありがとうございます。それで、点検してもらって、もし異常とか必要があれば、そういった補助を受けての点検ですので、当然これまた修理の必要性が出てくると思います。そういったことで、この修理、補修の費用というのは、これは要するに国の補助というのは今までと同じようなものでしょうか、またはある程度積み重ねたものでしょうか、これは。

○議長（北川広人） 都市整備グループ。

○都市整備G（平山昌秋） 今回の調査を結果として、悪いところについて修繕を行っていくというのが原則なんです、その部分、社会資本総合交付金というのが55%あります。今回、地域の元気という補助金がありますけれども、その補助金をもらいまして裏負担の8割分を今回委託としていただいております。その部分が今後工事というか修繕の中で、まだ国のほうがしっかり決まっておられませんものですから、その対応には国のほうの状況を見て今後進めていきたいと思っております。

○議長（北川広人） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 補正予算の主要新規事業のほうで、校舎窓ガラス落下防止工事の関係なんですけれども、飛散防止フィルムの厚みはどのぐらいかということをお聞きしたいと思います。というのは、国内では何か50ミクロンですか、0.05ミリ以上を飛散防止フィルムは指すというこ

となんですけれども、世界基準でいきますと100ミクロン、要するに0.1ミリ以上ということをおっしゃっております。また、2005年ですけれども、福岡の震災のときに50ミクロンの飛散防止フィルムを張っていたけれども、ガラスや何かの重みで落下して二次災害にまたなったということがちょっとインターネットで見ましたので、そこら辺の厚みはどういうふうになっておるのか、ちょっとお聞きしたいと思うんです。

以上です。

○議長（北川広人） 学校経営グループ。

○学校経営G（中村孝徳） 飛散防止フィルムの厚みということでございますが、ミクロンで言いますと75ミクロン、ミリに直しますと0.075ミリということになります。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 国内では、一応0.05ミリ以上でいいというあれなんですけれども、例えば、補助採択の中で要するに100ミクロンですか、それでもいいのか、それとも75ミクロンでやらなければいけないのか、そこら辺の採択基準というのか、そういったことはあって75ミクロンを選ばれたのか、そこら辺のことをちょっと再度お聞きしたい。

○議長（北川広人） 学校経営グループ。

○学校経営G（中村孝徳） 交付金採択に関します、厚みに関します基準というのは特にございません。今回やらさせていただいた透明フィルムにつきましては、一般的なものというふうで御理解いただきたいと思います。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） それでは、安全を期して100ミクロン、0.1ミリ、世界基準ぐらいの厚みでやっていただきたいというふうに思います。二次災害等のあれを防止するためにも、子供さんたちの安全を守るためにも、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。要望しておきます。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 私も質問いたします。15号、今の質問で校舎窓ガラス落下防止工事の関係ですが、この工事はことしの夏休みにかけて工事をされるというお話ですが、地元の業者さんに頼まれるのか、また入札ということになっていきますので、これはどのようにしているのかお示してください。

○議長（北川広人） 学校経営グループ。

○学校経営G（中村孝徳） これ当然入札ということでございます。総額でいきますと6,800万円を超えておるといことで、地元優先ということになりますと2,500万円ということがございますので、工事費で。工事は、2本ないし3本にするということも今考えて検討しております。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） ぜひ、検討ではなく実際に地元業者優先でやっていただきたいと思いま

す。

○議長（北川広人） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 71ページの2款1項の12目、公共施設のあり方検討委員会の委員謝礼が15万1,000円減額しておりますけれども、その理由と、それと特別旅費がたしかあると思いますけれども、それはなぜ減額していないのか、謝礼や何かが業務委託料に組み込まれたのか、そこら辺をちょっと御説明願いたい。

○議長（北川広人） 経営戦略グループ。

○経営戦略G（山本時雄） ただいまの報酬のほうの減額ということにつきましては、当初市民委員さんのほう6人で6回ということで予定をしてございました。このあり方検討に当たりましては、やはり専門的な部分がかかなり多分にあるというところの中で、市民委員さんを御存じのとおりお二方入れさせていただきました。ということによりますその減額ということでございます。議員おっしゃられるとおり、ほかの学識経験者の方たちにつきましては委託業務の中で費用弁償のほうさせていただいております。特別旅費につきましては、こちらコンサルさんとの打ち合わせだとか、一番最初の学識経験者等の打ち合わせということで特別旅費を扱わせていただいております。

○議長（北川広人） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 77ページの6款1項3目の明治用水の中井筋の増額なんですけれども、進捗状況をお聞きしたいと思います。

○議長（北川広人） 地域産業グループ。

○地域産業G（神谷晴之） 24年度末におきまして進捗状況につきましては、事業量につきましては約72%ぐらいでございます。中井筋につきましてはです。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 名鉄からこの間は、上流の間はどういうふうになっておるのか、いつごろ予定されておるのか、よろしいですか。

○議長（北川広人） 地域産業グループ。

○地域産業G（神谷晴之） 今、名鉄のところにつきましては調整中ではございまして、実は26年度ぐらいを最終工事になっておりますが、予定されておりまして、名鉄につきましてもそれでいけるというふうに県には確認しておりますし、その隣であります南陸運さんの部分につきましても、調整がつきまして26年には工事ができるというふうに県のほうとは調整ができたというふうに聞いております。

○5番（柴田耕一） はい、ありがとうございます。

○議長（北川広人） ほかに。

6番、幸前信雄議員。

○6番（幸前信雄） 議案第15号 一般会計の補正予算ですけれども、80ページ10款1項3目、教育費の中でサポートティーチャーの費用、これもととも2,600万円ぐらいの予算だったと思うんですけども、3月補正でこれ減額補正が出てくる理由というのは何なんですか。

○議長（北川広人） 学校経営グループ。

○学校経営G（梅田 稔） 今の御質問の10款1項3目のサポートティーチャー賃金400万円の減額ということですが、このサポートティーチャーにつきましては、各校の算数とか数学、それから英語科の少人数指導に当たっておる教員の、非常勤講師の賃金ということになりますけれども、これは本年度の場合は、県のほうからの常勤講師の加配と市のサポートティーチャーで、合わせて各校の少人数指導をやっておるわけですが、ちょうどこの2月、3月の時期に県の加配が決定をしますので、本年度の場合は県からの加配が9名ということで、その分のサポートティーチャーを減員したということの補正ということになります。

○議長（北川広人） 6番、幸前信雄議員。

○6番（幸前信雄） 県のほうからの加配があるということでお話なんですけれども、これはずっとこれからもそういう形になるというふうに考えてよろしいんですか。予算書をつくるときに、基本的に見えてない部分が、例えば次年度のところで表現されてくるというふうに、そういう理解でよろしいですか。

○議長（北川広人） 学校経営グループ。

○学校経営G（梅田 稔） 毎年県のほうもちょうど同じ時期につくりますので、どうしてもこちらがおしてくるので、同じような形に今後もなっていくと思います。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第15号から議案第21号までの質疑を終結いたします。

これより討論に入るのでありますが、討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより採決いたします。

議案第15号 平成24年度高浜市一般会計補正予算（第5回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号 平成24年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第17号 平成24年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号 平成24年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号 平成24年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第1回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第20号 平成24年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第21号 平成24年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（北川広人） 起立全員であります。

よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

○議長（北川広人） 日程第2 議案第1号から議案第14号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただくようお願いいたします。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 議案第13号 高浜市の新型インフルエンザ等の対策本部条例の制定についてですけれども、この条例は新型インフルエンザ等の対策措置法の規定に基づき制定するという事なんですけれども、県や各市の制定状況を教えていただきたいと思います。それと、なぜこの時期に議案として提出されたか、そこら辺のことも教えてください。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） まず、県、市の状況ですが、愛知県はこの25年2月定例会に提出をされてみえます。近隣市につきましても、高浜市を含めすべてこの3月議会に提出をされております。また、今回の特別措置法について施行日がいつになるのかいまだ連絡はありませんが、法の施行後、速やかに対策本部が設置できる体制を整えておく必要があるため、この3月議会に提出をさせていただいております。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。わかりました。

それでは、法律はできたものの、要するに具体的にインフルエンザの発生した場合の行動計画や何か2009年には出るとは思うんですけれども、それからはまだ示されていないということなんですか。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 議員おっしゃるとおりです。法律の施行後、国において政府行動計画を定め、それに基づいて県が行動計画を策定します。その県の行動計画に基づき、市の行動計画を策定するという手順となります。なお、この行動計画、市の行動計画は議会への報告事項となっております。よろしく申し上げます。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。

インフルエンザ対策は、市独自の施策で解決するというより、市境や県境を越えて予防等に当たる必要があると思いますので、国や県の行動計画と整合性のある広域的な視野で配慮して、計画としていただくようお願いしておきます。

以上です。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第1号から議案第14号までの質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第1号から議案第14号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、各常任委員会に付託いたします。

○議長（北川広人） 日程第3 議案第22号 平成25年度高浜市一般会計予算を議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

10番、鈴木勝彦議員。

○10番（鈴木勝彦） それでは、一般会計のところで質問させていただきます。全般にわたっての質問になりますので、ページ数の指定はありません。

昨年、私が市政クラブを代表いたしまして質問させていただきました。その中に、答弁の中に、市税収入全体では前年度対比2億円増の78億円と試算をすると、その中、一方、少子高齢化対策、あるいは社会保障関係費など、あるいは防災対策の強化、公共施設の老朽化の対策ということで、もろもろ喫緊の課題があるということで答弁していただいておりますけれども、この予算編成に当たってはどのような考えを持って当たられたのか、お答え願いたいと思います。

○議長（北川広人） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 予算編成に当たっての考え方ということでございますが、平成25年度は第6次高浜市総合計画がスタートして3年目を迎えて、前期基本計画の最終年度であるということ、それから、また新たに中期基本計画を策定するといった非常に重要な年度であるということから、予算編成に当たっては高浜市の未来へつなぐ予算ということでそういった位置づけをいたしまして、3つの基本的な考え方、具体的には総合計画の着実な推進、重点施策への財源配分、それから予算編成手法の見直しというこういった3つの基本的な考え方に基づいて予算編成に取り組んできたということになります。

具体的に申し上げますと、1つ目の総合計画の着実な推進といったところでは、行政評価の結果や総合計画推進会議からの提言内容を踏まえまして、将来にわたる政策展開を見据えた計画的な予算編成を行うということ、それから2つ目は、重点施策への財源配分ということになりますが、限られた貴重な財源、これを有効に活用していくために、予算編成に入る前にしっかり何に重点を置いていくのかといったことを明確にいたしまして、重要度、それから優先度の高い施策、事業に重点を置いて予算配分を行っております。3つ目の予算編成手法の見直しでは、事業仕分け、それから行政評価を行ってきた中で、所管グループがしっかりと責任を持って予算編成ができる仕組みとするとともに、全庁が一体となって予算編成に挑むことができるように予算編成会議を設置いたしまして、政策的・施策的予算の優先順位づけや市全体の総合的、横断的な調整を実施いたしております。

○議長（北川広人） 10番、鈴木勝彦議員。

○10番（鈴木勝彦） ありがとうございます。

これも12月に一般質問させていただきました。その議事録の中に、市全体の経営マネジメント

を実現するための予算編成会議の設置など、新たな予算編成の手法を導入していくということですけれども、これに当たってどのような成果があったか、あるいはあったと評価しているのか、そこをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（北川広人） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 12月定例会のところでもお話させていただきましたが、新たな予算編成を導入した理由ということにつきましては、総合計画に掲げておりますメリ張りのある予算編成、これを実現すること、そして中期基本計画の策定に向けて事業仕分けや行政評価を実施してきた中で、事業を所管するグループみずからが事業の本質に立ち返って事業を改めて考え直すといった組織、体制づくりがその目的であったということになります。メリ張りのある予算編成といったことにつきましては、新たに予算編成会議を設置しまして、緊急度、重要度などに基きまして、政策的・施策的予算の全庁的な優先順位づけを行うといった一連の仕組みについては、構築ができたというふうに考えております。また、予算編成の過程におきまして、総合的かつ横断的な調整が可能な場ができたということで、全庁が一体となって予算編成に取り組めるようになったというふう実感をしているところであります。

一方、組織体制づくりといった点では、今後の中期基本計画を策定するプロセス、そういった中で明らかになってくるというふうに思っておりますが、事業の本質に立ち返って考え直すといった精神といいますか、そういったものは2回にわたる事業仕分け、行政評価、そして今回の新たな予算編成を通じて根づいてきているというふうに考えております。

○議長（北川広人） 10番、鈴木勝彦議員。

○10番（鈴木勝彦） ありがとうございます。本当に全庁挙げてこの財政難を切り抜けていくということで、ひとつよろしく願いいたします。

最後になりますけれども、25年度は26年度からスタートする中期基本計画の策定する本当に重要な年度となろうかと思っておりますけれども、その裏づけとなる財源、しっかり検討していかれると思っておりますけれども、今後の財政見通しについてはどのように考えているのか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（北川広人） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 今後の財政の見通しということでございますが、中期の基本計画の策定に当たりましても、前期の基本計画と同様新たな中期財政計画を策定して、財源の裏づけを担保していくということであります。加えて、総合計画の計画期間、具体的には平成33年度までとなりますが、長期の財政見通しといったものについてもお示しをしていく考えであるということをお知らせをまずは申し上げておきたいと思っております。

今後の見通しということでございますが、新たな中期財政計画の中でしっかりとやっていきたいというふうに思っておりますが、歳入面では、市税については依然として不安定な状態が続

くであろうと、それから各種譲与金や交付金、地方交付税についても大きな増額は望めないだろうというような状況にある中で、歳出面では公債費が大きく減少して自主財源が確保されてくるものの、扶助費の増加といったものは避けられず、加えて公共施設の老朽化への対策といったことがスタートしてくれば、財政運営はさらに厳しい状況になるというふうに考えております。

また、平成26年4月からは消費税率の引き上げといったことが予定されておまして、来年度さまざまな動きが出てくるというふうに考えております。市の財政運営に当たりましては、大きく影響してくるというふうに考えておりますので、今後の国・県の動向を注視しながら健全な財政運営に努めてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（北川広人） ほかに。

5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） 新規主要事業、ナンバー6の13ページ、認知症の早期発見事業についてお聞きしたいと思います。この中で、医師や保健師、作業療法士といった専門家で組織された認知症の初期集中支援チームを設置するとありますけれども、このチームについてお聞かせ願ひたいと思います。

○議長（北川広人） 福祉企画グループ。

○福祉企画G（磯村和志） 厚生労働省は、今後増加が見込まれております認知症に対応するため、平成25年度から平成29年度までを計画期間といたしました認知症施策推進5か年計画、通称オレンジプランを作成いたしております。この中で、認知症初期集中支援チームが位置づけられておまして、地域包括支援センターなどに設置をし、認知症の疑いのある高齢者宅を訪問し、アセスメントや家族支援を行うことといたしております。また、平成27年度以降には全国へ普及させるための制度化が検討されておる状況でございます。

高浜市といたしましては、これに先駆けまして平成25年度より、地域包括支援センターにこの認知症初期集中支援チームを設置してまいりたいと考えているものでございます。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） わかりました。以前の説明のときに医師会の協力があるということで、多分この事業を新規事業に挙げられておるといふふうに考えておりますけれども、設置される医師と具体的な業務内容、それと本市に何人ぐらい認知症の認定医師がお見えになるのか、そこら辺をお聞きしたいと思います。

○議長（北川広人） 福祉企画グループ。

○福祉企画G（磯村和志） 認知症の初期集中支援チームに医師は欠かせない存在でございますし、認知症対策は地域医療との連携も必要でございます。今回、先ほど柴田議員がおっしゃられたとおり、高浜市医師会の御協力をちょうだいすることができまして、医師会との委託契約を締結させていただく予定となっております。まずはチーム委員会議を開催させていただきまして、

保健師などにケースに応じた助言をいただくことから始めてまいりたいと考えております。

それから、認知症の専門的な医師でございますが、高浜市医師会には4名の先生がいらっしやいます。

○議長（北川広人） 5番、柴田耕一議員。

○5番（柴田耕一） ありがとうございます。このチームの活躍によって、認知症の早期発見や早期支援につながることを期待しております。

以上です。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 議案第22号 平成25年度の高浜市一般会計予算、60ページですが、先日訂正の資料をいただきましたが、どうしてこういう訂正になったのか、まずお示しをいただきたいということ、それから……

○議長（北川広人） 内藤議員、申しわけないです。今のところの款・項・目はどちらのほうになりますか。

○12番（内藤とし子） 1款1項です。お願いします。

○議長（北川広人） 税務グループ。

○税務G（森野 隆） 説明書の61ページの法人の説明の中の訂正ということでございますが、大変申しわけございません。これはちょっと見落としまして、昨年と同様の金額を載せたものでございまして、予算額につきましては変更ございませんが、中の内訳の金額が間違っておりましたので、申しわけございませんでした。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） やっぱりこういうところは、一定の時間かけて準備をされると思いますので、ぜひ今後こういうことがないようにお願いをしたいと思います。

それから、137ページですが、3款民生費、1項社会福祉費の8目高齢者社会参加推進費、いきいき健康マイレージ事業委託料が若干予算計上が減っていますが、これ今どれぐらいの方が利用しているのか、把握されていたらお願いします。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） いきいき健康マイレージ事業の実績者ということですか。これ、健康の部分と福祉、ボランティアの部分2つあります。現状ですと、これは2月末の状況ですが、健康の部分で698人、福祉、ボランティアの部分で187人ということで、880人程度の人数となっております。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 今までやられていた施策に比べて、若干取り組みが弱いような感じがい

たしますが、この点ではどのように考えてみえるのか、お願いします。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 取り組みが弱いという言い方がちょっと具体的ではないのですが、私どものほうも、実は24年度末の時点が698人で、この部分で200人近くふえているということで、さらにふやしていくためにはまた新たな手法をこれから考えていきたいというふうにも思っておりますので、生涯現役のまちづくり事業とあわせて一体として考えていこうと思っております。よろしくをお願いします。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 149ページ、2項の児童福祉費、2目の保育サービス費の関係で、臨時保育士の賃金がかなり減額されていますが、これはフルタイムの方たちが何人ぐらいにみえ、何人ぐらいに減ったのか、お願いします。

○議長（北川広人） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 保育園の臨時職員の人数ということでございますが、保育園におきましてはフルタイムにおいて16人減少しております。これは民営化の関係の減でございます。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 16人減ったということはわかったんですが、今度25年度は何人ぐらいでやっていかれるのか、そこのところもお示してください。

○議長（北川広人） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 臨時保育士という形でございます。まず、代替職員、産休関係で4人、フルタイムで加配ですとかそういったことに当たるのが5人ですので、保育園では9人のフルタイムの臨職で対応してまいります。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 保母さんというのは、やはり毎年子供を見る仕事なんですから、代替の方は無理がないとしても、臨時のフルタイムの方が5人いるということは、やっぱりこれは減らしていかなきゃいけないと思うんですね。その点でどうなのかということ。

155ページですが、児童福祉費の関係で、3目の家庭支援費の関係で、児童クラブ業務委託料、これ放課後児童健全育成事業の関係ですが、来年度の児童クラブの関係で小学校2年生の女の子がシングルマザーのお母さんで待機児になるというお話を聞いています。大変困っておられますが、小学校2年生で待機児になってしまうということで、何かその点での方策はないか、お願いします。

○議長（北川広人） こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） まず、臨職の問題でございますけれども、私ども臨職に関しまし

ては、例えば障がい児加配の問題がございます。これは、毎年障がい児をお預かりする中で、何人の保育士を加配としてつけるかというものは一定ではございません。そういった中で、臨時職員も活用しながら対応をしていくというのが望ましいと思っておりますので、議員以前から言われておりました臨職解消ということも含めて、民営化の中で正規職員を多く配置するという形で取り組んでまいりましたが、臨時職員の付与が全くなくなるということは、保育の運営上よくないというふうに考えておりますので、御理解いただきたいと思えます。

次に、児童クラブのことでございます。今年度、吉浜児童クラブは非常に申し込みが多くございました。その中で、特に知多学園が今、吉浜児童クラブを担当しておるわけですけれども、そういった状況の中で弾力運用、何とかあそこは今まで正職員が2人で市のときはやっておったんですけれども、3人という体制、それから指導員も引き続き雇っておるという中で、何とか入れたいということで、吉浜が、済みません、40人定員で4人ほど多く入れております。その中で、多い中で、議員おっしゃられたような2年生の方で待機が出ております。ただ、待機の出られた方のお母様の、保護者の方の就労の時間を見ますと4時以内、遅くても4時半ぐらいでお迎えに来られるという方で、比較的5時、6時という形での待機ではございません。それでいいというわけではございませんが、そういったことも含めまして、私ども例えば今回待機になられた方につきましては、3年前からやっております春休みを弾力運営で受け入れをさせていただいて、学校の授業が始まるまでお受けするというのもやっておりますし、そのあと放課後の居場所事業ということで学校内での居場所もあります。そういったことを利用させていただきながら、比較的今回待機の早く帰ってみえる方なので待つていただくとか、それから児童センターのほうを使わせていただいて、場合によっては保護者の方が帰られるまで過ごしていただくということも考えられますので、そういった対応で進めていきたいというふうに考えております。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 春休みを児童センターでお弁当をいただくという点では理解できるんですが、今後夏休みなんかもありますので、夏休みは学校での居場所はやっていませんので、そういう点で夏休みが非常に困る時期ですので、ぜひそういう点での方策をまた工夫していただきたいと思えます。

それから、165ページ、4款衛生費、1項保健衛生費の関係ですが、扶助費の関係で妊婦健診、乳児健康診査が計上されてはいますが、以前新聞で、よくわかりにくかったんですが、基金をなくす、なくさんというふうなのがついていました。これはどのようになっているのか、どのように25年度はなっているのか、お示してください。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 妊婦健診の基金の関係ですが、これはもともと愛知県に設置をされました妊婦健診の基金を通じて、市町村に補助をされていた部分であります、国のほうで今回

基金の積み増しをされないということで、24年度をもって終了となります。25年度については、補助金がないという状況で進めてまいります。

○議長（北川広人） ほかに。

こども育成グループ。

○こども育成G（大岡英城） 夏休みの対応ということでございます。これについても例年、夏休みの一時預かりという形で、毎日夏休みというのは児童の方見えるわけではない方も見えますので、そこの中の弾力も含めて体制の中で安全を確保しながらやれる範囲の中で、弾力でふやして児童クラブで受け入れるということもやっておりますし、特に今年度児童センターのほうでは、夏休みの中心とした事業の拡大、充実というものを目指しておりますので、児童クラブに入ってみえないお子様方も、児童センターで十分いろんな形で過ごしていただくということに向けての対応もしっかりとやっていきたいと思っております。それと、3年前これも夏休みの対策ということで行わせていただいたんですけれども、また今後まち協等いろんな形の方が私どもの子育て、見守りについて御協力いただいております。3年前も吉浜のふれあいプラザの中で、一時的な預かりを夏休みやっていただいたというようなこともございます。ですから、また夏休みの中になって、利用者が多いというような状況になれば、地域の保育力といいますか、そういったものの御協力を願いながら、そういった場所も検討していきたいというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） この児童クラブの待機児については、ぜひ夏休みも含めて子供たちも親も困らないようにぜひお願いをしたいと思います。

それから、妊婦、乳児健診なんですけど、これ25年はなくなるということですが、その対応はどのようにされていくのか、お願いします。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 今回につきましては、補助金がなくなるという非常に大幅な制度の変更の中で実施をしていくわけですが、こちらについては補助金がなくなるものの、市としては14回の乳児健診は実施をしております。よろしくをお願いします。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） わかりました。

その下のほうなんですけど、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種助成金357万9,000円計上されていますが、これ実施されるということで大変喜んでるんですけど、これどれぐらいの、何人分ぐらいを想定してみえるのか、お願いします。

○議長（北川広人） 保健福祉グループ。

○保健福祉G（加藤一志） 私ども、75歳以上の高齢者3,900人程度になりますが、その30%、

具体的には1,193人分ということで考えております。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 185ページ、7款商工費の関係で、いきいき号循環事業費補助金2,441万6,000円というのがございます。以前にも言ったことがあるんですが、今刈谷コースというのがございます。刈谷豊田総合病院です。この刈谷コースの中に、1カ所停留所を設けていただけな
いかというのが地元の皆さんの声なんです、こういう声はどのようになっているのかお示してください。

○議長（北川広人） 市民生活グループ。

○市民生活G（山下浩二） その停留所の増設について、吉浜地区から御要望があるということは私ども承知してございます。ちなみに、今御好評をいただいております刈谷市コースにつきましては、25年2月現在で前年同月と比べまして20.5%の乗車増が見込まれてございまして、非常に好評をいただいております。その原因の一つに直行というところがあるということをお私ども承知をしております。しかしながら今のコースが絶対なものだというふうには当然考えておりませんので、その中でその御指摘のございましたちょうど上にございます高浜市地域公共交通会議というのがございます。こちらのほうで、そういった御要望をすべて御意見等を勘案してコースの見直しを図ってまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 吉浜の方たちは、刈谷まで行くのに一度市役所へ行って、それからバスに乗っていく。帰りは、市役所まで、病院行かれる方ですから、体調の悪い方も見えるわけですが、そういう方もみんな市役所まで戻ってきて、それからまた家まで車で迎えに来てもらう人もあればバスで行かれる方もあるんでしょうが、やっぱり体の負担も大きいですし、せめて1カ所とめてほしいという声が大変強いもんですから、ぜひそれは検討していただきたいと思っております。

221ページ、10款教育費、5項社会教育費の関係で、吉浜公民館がきっかけなんです、公民館に網戸がなくて、やっぱり網戸があれば、網戸にして外の風を入れて行事をやるということが出来ますので、エコの面からもぜひ網戸をつけてほしいという声があります。その点ではほかのところも同じようなことがありますので、ぜひ聞いてみたいと思っております。網戸はどうされるのか、お願いします。

○議長（北川広人） 質疑の途中ですが、暫時休憩いたします。

再開は11時10分。

午前10時59分休憩

午前11時07分再開

○議長（北川広人） 休憩前に引き続き会議を開きます。

引き続き、議案第22号の質疑に入ります。答弁をお願いいたします。

文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（内藤克己） 先ほどの吉浜公民館の網戸の設置についてというお話だったんですが、先月末に、年1回なんですけど、吉浜公民館、各公民館そうなんですけど、公民館利用者と指定管理者及び公民館長さんによります利用者懇談会というものを開催いたしております。その会議の議事録を私どももいただいたんですが、利用者のその懇談会の中では、網戸を直してほしいというちょっと御要望は出ておりませんでした。ただ、そういった声がやはり今後多くなってききました場合、財政的な面もありますので優先順位等、あと利用者のサービスの安全性等も考慮しながら決めていく必要があるんですが、設置のほうも必要に応じて検討していきたいと考えております。

○議長（北川広人） ほかに。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） エアコンは、今冬場だったら何度まで使用してくださいというような節電の方策もとってみえるというふうに聞いています。ですから、網戸があるだけでエアコンを使わなくてもいいし、それからその分も、随分外の空気を入れてやっていけるということだと思うんです。実際に、吉浜公民館のほうにそういう投書もあったというふうに聞いていますので、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

以上です。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これにて議案第22号の質疑を終結いたします。

○議長（北川広人） 日程第4 議案第23号から議案第28号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 議案第23号国民健康保険の関係ですが、資料をいただいておりますが、それによれば短期保険証の発行が778世帯、資格証明書が1世帯ということなんですけど、一般会計の繰り入れをふやして保険料を下げるという考えがないのかどうか。それと、所得階層が総所得金額のない者から700万円を超える者という階層別になってはいますが、これはこの階層別というのは国で決めてあるのか、どこで決めてあるのか、高浜で決めてあるのか、ちょっとその点もお願いします。

○議長（北川広人） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（木村忠好） まず、一般会計からの繰り入れをふやして保険税の引き下げを行ってみたいという御質問でございますが、平成24年度の実績見込みを見ますと、単年度の収支で1億円程度のマイナスとなる見込みでございます。加えて、保険税を引き下げるためにまた財源をそれ以上に投入するということとなりますと、1億円単位の一般会計からの財源の投入が必要になってくるということでございます。一般会計からふやして、保険税の引き下げを行うということにつきましては、一般会計の財政も大変厳しい折、現時点では大変難しいものと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、参考資料の所得階層の区分けにつきましては、私ども見やすい書類を提出させていただくためにそれぞれの段階で区切らせていただいております。国とかによるものではございません。

○議長（北川広人） 12番、内藤とし子議員。

○12番（内藤とし子） 短期保険証も大変多く見えてきて、特にこの所得金額のない者という方たちが、これで見ますと、被保険者で見ますと511人ですか、いるということなんですけれども、こういう方たちは所得金額がなくても、またはとても少なくとも払わなきゃいけないということで、大変厳しい生活を送っておられますんで、ぜひこういう点も考えていただきたいということ、それから、所得階層が700万円を超えるものとして、700万円を超えると全部、700万円だろうが800万円だろうが1,000万円だろうと一緒にしているということなんですけど、これをもうちょっと細かくといいますか、分けられないのかということをおもいますので、その点ではどうでしょうか。

○議長（北川広人） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（木村忠好） まず、低所得者の方に対してということでございますが、確かに所得のない方、年金収入で生活しておられる方、こういった方々の低所得者の方に対しましては、均等割、平等割におきまして7割、5割、2割といったような軽減措置もございます。また、高額医療、高額合算制度等によりまして、保険税だけではなく医療を受ける分に当たりまして、こういった方々の配慮は行われておるといふふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

あと所得が高額の方ということでございますが、実は高額になる方につきましては上限額というものが設定されておまして、それ以上の所得があっても保険税はこの金額までという上限額が決まっております。これにつきましては政令によりまして決まっておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（北川広人） ほかに。

ほかに質疑もないようですので、これにて議案第23号から議案第28号までの質疑を終結いたします。

○議長（北川広人） 日程第5 議案第29号 平成25年度高浜市水道事業会計予算を議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

質疑もないようですので、これにて議案第29号の質疑を終結いたします。

○議長（北川広人） 日程第6 予算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

議案第22号から議案第29号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、議案第22号から議案第29号までについては、予算特別委員会を設置し、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条第1項の規定により、黒川美克議員、柳沢英希議員、柴田耕一議員、杉浦辰夫議員、鷺見宗重議員、磯貝正隆議員、小嶋克文議員、私、北川広人、以上8名を指名いたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました8名の議員を予算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

○議長（北川広人） 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

常任委員会及び予算特別委員会の開催により、3月9日から25日までを休会といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（北川広人） 御異議なしと認めます。

よって、3月9日から25日までを休会とすることに決定いたしました。

再開は、3月26日午前10時であります。

本日は、これをもって散会といたします。御協力ありがとうございました。

午前11時17分散会
